

令和8年度 アオコ情報（河川 No. 13）

8月25日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}の最大値は、新川でアオコレベル4相当^{※2}、備前川でアオコレベル2相当、土浦沖合でアオコレベル3相当でした。

新川、備前川及び土浦沖合のアオコレベル

<新川>

- ・ 新港橋でアオコレベル4相当（フィコシアニン濃度：17000 µg/L）、新川河口沖でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：509 µg/L）及び神天橋でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：80 µg/L）でした。

<備前川>

- ・ 竹中橋及び備前川河口沖でアオコレベル2相当（フィコシアニン濃度：210～687 µg/L）、岩田橋でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：85 µg/L）でした。

<土浦沖合>

- ・ 土浦沖合①及び土浦沖合②でアオコレベル3相当（フィコシアニン濃度：752～829 µg/L）でした。

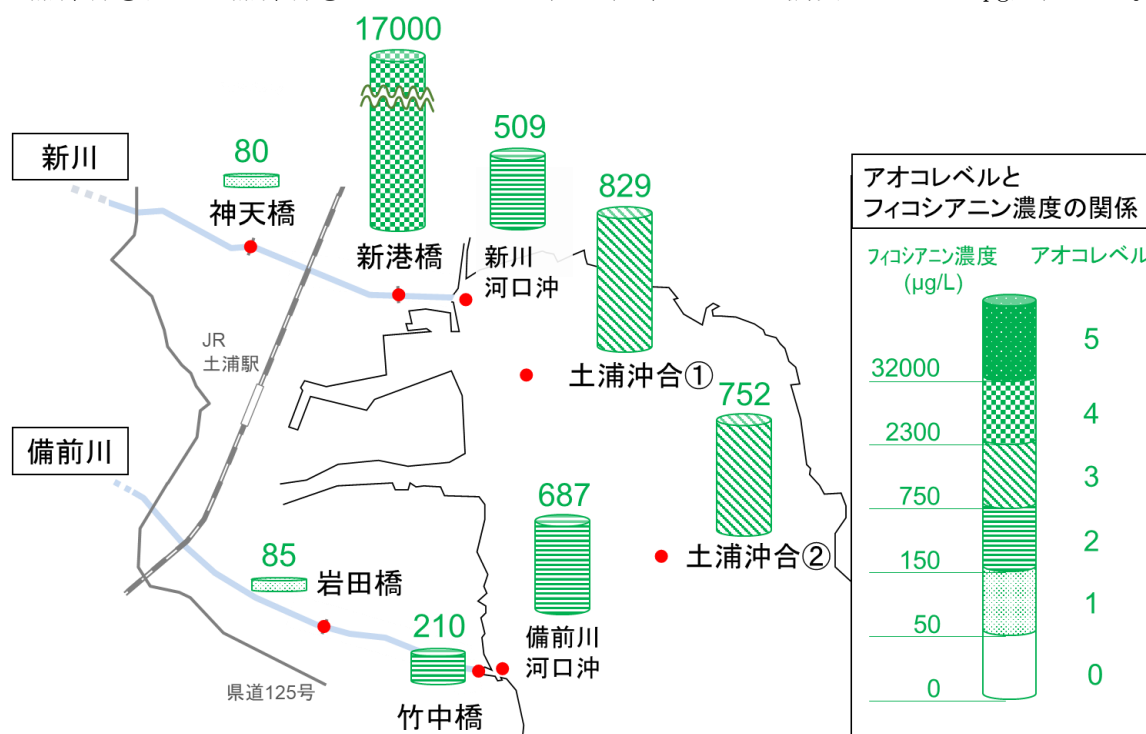


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら、2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	新 川			備前川			土浦沖合	
	神天橋	新港橋	河口沖	岩田橋	竹中橋	河口沖	①	②
採水時刻	8月25日	8月25日	8月25日	8月25日	8月25日	8月25日	8月25日	8月25日
	10:51	10:26	9:52	11:28	11:42	9:24	9:46	9:37
水温 (°C)	29.5	31.1	31.3	30.6	32.5	31.0	31.3	30.7
pH	8.0	8.6	9.5	8.4	9.0	8.8	9.2	9.0
EC (mS/m)	29.4	19.3	28.8	27.2	27.0	27.3	28.4	27.8
透視度 (cm)	20	< 1	14	24	14	14	11	12
フィコシアニン (μg/L)	80	17000	509	85	210	687	829	752
クロロフィル a (μg/L)	69	19000	179	82	299	259	349	275

● (参考) アオコレベル (https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000042117.pdf)

